

(様式1-表)

令和7年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	109	豊田市立 猿投台中 学校	代表	竹端 達治
------	-----	--------------	----	-------

※分野[a: 国際交流・国際理解、b: 地域連携、c: 自然体験、d: 環境教育、e: 学力向上、f: 交流体験、g: 福祉・ボランティア、h: 伝統文化、i: 其他 ()]から選ぶ。

テーマ	生徒が主体的に取り組み、自立心を育める環境の充実	分野	f	交流体験
	サブテーマ	[(その他)は分野を右欄に記入]		
学校づくりの視点(ねらい)	<p>1 自ら学ぶ ともに学ぶ 本校の生徒は真面目で素直な生徒が多い。その反面、受け身的であり、自ら考え、行動するといった面を伸ばすことが課題である。そこで、生徒の主体性を育て、生徒一人一人の自立を支援する教育活動を工夫していく。</p> <p>2 生徒の人間関係作り 学級活動、生徒会・委員会活動などで、生徒が学校生活を、自分たちの手でよりよくしていく自治的な活動を目指す。行事においても、生徒の主体的な取組を支援し、一人一人が達成感と自己有用感を味わえるようにする。 本校は伝統的に、体育祭における「クラスアピール」、文化祭での異学年交流などを通して、1～3年までの生徒が交流し、お互いに成長する姿がある。これらの行事を通して、活動を生徒自身が考え、主体的な活動になるように支援する。</p>			
活動内容・計画	<p>1 生徒会、委員会活動、学年ごとの活動 「CANペーン活動」を生徒が計画し、生徒に呼び掛け、活動を展開し、自分たちの手で学校生活を向上させていく。</p> <p>2 体育祭、文化祭などの異学年交流 3年生一人一人がリーダーシップを発揮して、後輩にパフォーマンスを指導する。クラスアピール活動は生徒の計画、運営に委ね、主体的に取り組み、大きな連帯感、達成感を味わわせる。文化祭でも体育祭での異学年交流を生かし、学級での発表をお互いに見るなどして、自分たちでよりよいものをつくっていけるようにする。年間を通して、先輩・後輩のつながりを大切に活動を行う。</p>			
補助員配置	<p>1 校内整備員 ・校内整備 各行事で使用する資材の準備</p>			
実績・期待される効果	<p>1 期待される効果 ・体育祭でのクラスアピールでは、どの学級も決められた時間において、活動内容を計画することで生徒が意欲的に取り組めると考える。 ・3年生は同じ団の下級生の練習に参加し、積極的にアドバイスをすることで異学年の関係が深まると考える。 ・それぞれの委員会が「CANペーン」活動を実施することで、自分たちの学校生活を見直し、よりよい学校生活をしていこうとする気持ちを育て、学校に対する誇りを育てることができると考える。 ・心の相談員を配置することで、不登校生徒をはじめとする学校生活に不安を抱えている生徒への支援を行い、教員や他の生徒との関係を改善することができると考える。</p>			
検証方法	<p>1 各活動後の生徒の感想などの分析 2 学校環境の変化の比較 3 学校生活アンケートの分析</p>			